

「増税」への地ならしが…

経済財政諮問会議は12月3日、「2008年度予算編成の基本方針」を決定しました。同方針は「今後、消費税を含む税体系の抜本的な改革を実現」と明記し、消費税増税計画を打ち出しています。また、自民党税制調査会が社会保障費の「中核財源」として消費税率の引き上げを打ち出すとの報道もあり（『日本経済新聞』昨年12月9日付）、増税への地ならしが進められようとしています。



消費税が強行されて19年 社会保障は改悪の連続

社会保障財源に消費税増税
「納得できない」が過半数

納得できない**54%**

納得できる**36%**

朝日新聞世論調査（07年11月6日付）「社会保障の財源を確保するために、消費税が必要だという考え方があります。この考え方に納得できますか。納得できませんか。」への回答

政府は社会保障のための「安定的な財源」として、消費税増税を主張しています。
しかし、消費税は導入のときも社会保障が口実にされましたが、社会保障は改悪の連続です。「社会保障のため」といっても納得できません。マスコミの世論調査でも、社会保障のための消費税増税に「納得できない」という声が過半数にのぼっています。（グラフ）

消費税増税やめ 巨額な軍事費にメスを!

軍政財の

利権の温床にメスを

庶民に消費税増税を強いるのではなく、軍政財癒着の温床になっっている5兆円もの軍事費、大企業・大資産家へのゆきすぎた減税などにメスを入れるべきです。

